

## はじめに



私たちは、便利で快適な生活を得るために、大量生産や大量消費といった社会経済構造をつくり出してしまいました。その結果、環境への負荷を増大させ、大気汚染や水質汚濁などの公害や、また地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨といった地球規模の環境問題を引き起こしてしまいました。

こうした環境問題は、複雑化、多様化しており、その解決の道筋も困難になっている中、環境に配慮した取り組みが一層求められています。

本市には、日本三大扇状地として知られる御勅使川扇状地が広がり、中山間地から平野部にかけては、水田や果樹園という美しい景観が今なお残っています。また、山間地のほとんどは、国立公園や県立自然公園の区域となっています。私たちは、先人が築き、受け継いできた南アルプス市の自然環境を守るとともに、今後さらに良いものとして、将来の世代に引き継いでいかなければなりません。

そのために、私たち一人ひとりが生態系の一部として存在し、限りある自然から多くの恵みを受けていることを自覚し、日常生活や事業活動などあらゆる活動において環境に配慮するとともに、環境への負荷を減らし、持続可能な循環型社会を築き上げなければなりません。それは、すべての生物の生存基盤である地球環境に深刻な影響を及ぼさせてしまった私たちに課せられた使命です。

本計画は、「南アルプス市環境基本条例」に基づき、環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため策定いたしました。

本市では、この計画に掲げた望ましい環境像の実現に向けて環境行政を進めてまいります。市民、事業者、市そして滞在者のあらゆる主体の自主的、積極的な取り組みや、連携・協働による取り組みを進めるため、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、本計画の策定に当たり、熱心にご審議いただきました南アルプス市環境審議会の委員の皆様、そして、アンケート、パブリックコメントなどで貴重なご意見をいただきました多くの皆様に厚く御礼申し上げます。

平成 22 年 11 月

南アルプス市長 今 沢 忠 文